

<下水道における新型コロナウイルスについて>

厚生労働省の見解では、SARS コロナウイルスは、PH 7~8の汚水中、6時間程度で失活することが判っており、同種の新型コロナウイルス（COVID-19）についても同様に失活するものと考えられています。

下水道管、各ポンプ場、終末処理場の滞留時間を考えると、最終的に河川放流するまでには、失活するものと考えられます。さらに、塩素（次亜塩素酸ナトリウム）で、消毒しますので、安全性はより高いものと考えられます。

※失活：活動が停止し、人に感染できなくなること。